令和 8 年 10 月 26 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称　　湖北ふれあいＡｏｉ
サービス種類　地域密着型介護老人福祉施設
　　小規模多機能型居宅介護

会議開催日…令和 8 年 10 月 26 日　　14：00～15：00

開催場所　Ａｏｉ地域交流ホール
出席者

松江市職員	1 人	地域代表者	2 人
事業所	2 人		

1.状況、活動状況の報告
別紙添付

＜出席者より＞
・病院から施設に戻る看取りの基準は
→　老衰により経口摂取が困難となり点滴を施行されていた方が Aoi で看取りとなり退院されるが、その時に病院からは『点滴をずっとするのは本人にとって負担となり苦しまれるので、点滴を外し施設で最期を看取られたらどうか』と説明されたと聞いている。こちらからは『施設では点滴は出来ない。経口摂取を全くしない事も本人様にとっては苦痛であると思われる』と説明した。ご家族様からは『Aoi でお願いしたい』と言われた
・看取り先はどのようにして家族は決めているのか
→　病院での点滴を希望するのか、施設で食べれる物を食べれる程度摂取するのかに分かれる。点滴を希望される場合には、急性期病院での対応ではなく慢性期病院へ転院を勧められる
・家族の面会はあるのか
→　来る家庭と来られない家庭と両極端となっている
・身寄りのない方もいるのか
→　身寄りのない方は現在は居られないが、今後はその様な方の入所も予想される。その場合には身の回りの事や受診や入院の時の対応や亡くなられた後の対応など施設対応となる事が予想される。施設のマンパワーの事もあり、行政と協力しながら対応ができれば良いと思う

・契約書の身元引受人は複数名か

→　以前は一人でも良いとしていたが、トラブルがあった事もあり、現在は住所の違う方 2 名の身元引受人を書いて貰っている。しかしお一人しか身元引受人がおられない方も多く、その様な時にはお一人でも可としている。

・薬のヒヤリが見られる

→　配薬忘れや誤薬が無い様に対策を講じており、その様なミスは少なくなっているが、一旦口の中に入れた錠剤を後から吐き出されるヒヤリハットが増えている。対応策として服薬後の飲み込み確認を行い、必要に応じて錠剤を粉砕している

・前回の運営推進会議で避難訓練に参加させて頂いたが、その後何か反省点の改善があったのか

→　反省会を実施し、改善ができる点に関しては改善をした。ただ、2 階からの利用者の方の避難等、施設職員だけで行う事に限界があるとも感じている。BCP の観点からも行政を交えた対応策の構築が必要と思われる。熊本の地震や能登の地震の時にどのような事が施設で起こり、どのような対応策を講じたのか、具体的な事象について発信して貰えれば、今後の BCP に行かせるものと考える

・今年も城東公民館の文化祭に参加するのか

→　10 月 31 日に開催される文化祭に利用者様の作品を展示する予定である

・文化祭で施設の PR をされたらどうか

→　Aoi を知ってもらえる様にアピールする

・次回の運営推進会議は 12 月中旬頃を予定している

以上